

# 日本音楽教育学会 平成 27 年度 関東地区例会

## および座談会開催のご案内

平成 27 年度 関東地区例会（博士論文発表会）と座談会【教科「音楽」の存在意義を考える】を下記の要領で開催いたします。皆様、奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

**日時：**平成 27 年 6 月 13 日（土） 13:00 ～ 17:30

**場所：**学習院大学 北 1 号館 201 教室

山手線目白駅下車すぐ

以下の HP 参照（キャンパスマップの中の⑭が北 1 号館）

<http://www.gakushuin.ac.jp/mejiro.html>

### 関東地区例会（博士論文発表会） 13:00 ～ 14:40

**参加費：**無料（会員以外の方もお誘い合わせ下さい。）

1. 音楽的活動における保育者の発信的・応答的能力の向上  
ー臨床的・ミュージシャンシップ援用の可能性ー  
田崎 教子（東京藝術大学大学院）
2. 音楽教師の実践知の内容と構造  
ーインタビューと歌唱授業の分析を通してー  
市川 恵（東京藝術大学大学院）
3. 現代オルティン・ドーの変容  
ーパフォーマンスに関わる諸要素の分析を通してー  
ツェルゲル（東京学芸大学大学院）

**司会：**中嶋 俊夫（横浜国立大学）

問い合わせ先：関東地区担当理事 木村充子（桜美林大学） [mkimura@obirin.ac.jp](mailto:mkimura@obirin.ac.jp)

## 座談会【教科「音楽」の存在意義を考える】 15:00 ～ 17:30

日本音楽教育学会では、教科音楽の必要性を社会にアピールしていくために、昨年度より会長諮問プロジェクトを立ち上げ、複数回の検討を重ねて参りました。その一環として、このたび、下記のような座談会を開催することになりました。この座談会は、他の芸術教科や学校運営、そして教育行政の立場にある方々から、教科音楽の存在意義、学校教育において果たしている役割、あるいは今後の音楽科教育に望むことなどを客観的かつ率直に語っていただき、その中から本学会として今後、検討していく課題と社会へのアピールの方法を明確にしていこうというものです。

学会員の皆様はもちろん、学会に所属していない方々の参加も可能です。皆様のお越しをお待ちしております。

**参加費：無料**

### 座談会メンバー：

1. 芸術系他教科の取り組みと他教科から見る「音楽科」を語る  
辻 政博氏（帝京大学教育学部准教授 元全国小学校図画工作教育連盟会長）
2. 学校における「音楽科」の意義を語る  
菅野 武彦氏（杉並区立向陽中学校長）
3. 教育行政の立場から「音楽科」の意義を語る  
三田 一則氏（豊島区教育長 元東京都公立小学校長）

**司会：**伊野 義博（日本音楽教育学会副会長 新潟大学教授）

問い合わせ先：嶋田由美（学習院大学） **E-mail: 20130004@gakushuin. ac. jp**

本座談会は「日本音楽教育学会常任理事会企画 プロジェクト研究Ⅱ」とタイアップしております。